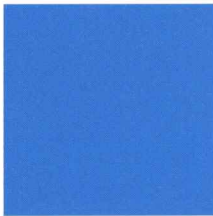
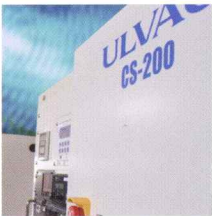


Quest  for the Best Value

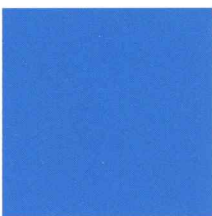
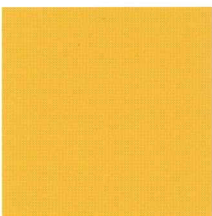
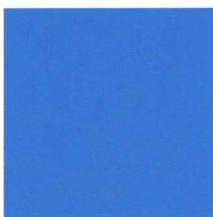
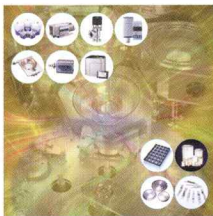
CORPORATE INFORMATION

会社案内



アルバックテクノ株式会社

ULVAC TECHNO, Ltd.





# 多彩なカスタマーソリューションと最高の価値の提供を — お客様から信頼されるベストパートナーとして

アルバックテクノ株式会社の企業理念ともいえる社では

我が社は顧客の信頼を大切にします。  
我が社は顧客に役立つ行動をする。

—と、表現されています。

現在、時々刻々と進化を遂げる産業分野ではより高度なカスタマーサポート体制が要求されています。アルバックテクノ株式会社は、これを実現するために、お客様に多彩なカスタマーソリューションと常に最高の価値のみを提供することを使命にしています。

これを極めることにより、  
お客様から信頼されるベストパートナーとして、  
ご愛顧いただけるよう努めて参ります。

アルバックテクノ株式会社  
代表取締役社長 **末代 政輔**



Field Support | p.8

Improvement Support | p.10

Resale & Refurbish | p.12

Parts Supply | p.14

Surface Treatment & Precision Cleaning | p.16

## アルバックの歩み

**1952年8月**  
産業界への貢献を目的に  
**アルバック設立**  
1952年8月、株式会社アルバックは、日本真空技術株式会社という社名で誕生しました。同社の設立は、松下幸之助（パナソニック創業者）を始めとする強力な支援者を背景にして、若き真空研究者が中心となって、戦後日本の産業貢献を目的にしたものでした。以来、アルバックは、世界で唯一ともいえる真空総合メーカーとして、産業や研究分野に価値ある製品を提供しています。

**1950-60年代**  
真空総合メーカーとして  
真空装置国産化への挑戦  
アルバック設立の3年後、それまでのアメリカ製真空装置の輸入販売から、本格的な国産化へとシフトしていきましました。  
写真は  
大森工場

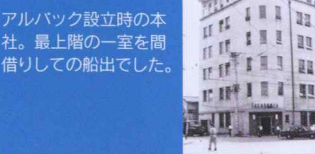
**1970年代**  
新技術で自動車・家電など  
高度技術産業への貢献  
1975年、アルバックはアメリカの巨大企業 IBM から全自動半導体製造装置を受注。アルバックの確かな技術が認められました。  
IBM向け真空装置

**1980年代**  
生産・サービス拠点拡大  
高度技術産業への貢献  
アルバックの1980年代は、さまざまな産業分野に貢献していましたが、特に、半導体・電子産業向け真空装置は大変好評を博しました。  
世界的ヒットの真空装置

**1990年代**  
薄型テレビ産業に貢献する  
超大型真空装置事業の拡大  
1990年代、アルバックはますます高度化する真空装置を提供していきま。特に卓上型パソコンの液晶表示画面向け真空装置は世界へ拡大していきま。  
FPD向け真空装置

**2000年代**  
中国、韓国、台湾など  
東アジアへの海外進出  
2000年代、大型液晶テレビは台湾、韓国、中国に生産拠点は拡大していき、アルバックもまた、積極的に東アジアへの進出を図りま。  
中国での開所式

**現在**  
高度情報化など、次世代真空技術  
で未来を切り拓く  
アルバックは、未来が求める新しい価値を創造し、継続的で豊かな社会に貢献しようと、「情報の高度化分野」「省エネ・創エネ分野」へも挑戦していきま。  
アルバック  
本社・工場



アルバック設立時の本社。最上階の一室を間借りしての船出でした。

## ULVAC

「ULVAC (アルバック)」とは、「真空が持つ無限の可能性を追求すること」を意味する「Ultimate in VACuum」からつくられた商標名で、社名としても使用しています。  
真空技術は、私たちの暮らしはもちろんのこと、省エネ・創エネ分野、情報通信分野に代表されるIoT (Internet of Things) にまで、無限の可能性を発揮して、幅広い分野で貢献を続けています。

## 業界初、サービス専門会社として独立

## アルバックテクノの歩み

### 1979年1月 アルバックテクノ設立 サービス拠点の拡大

1979年、アルバックのサービス事業部を分離し、誕生したのがアルバックテクノ株式会社 (当時はアルバックサービスという社名) です。真空業界では国内初ともいえるサービス専門会社でした。  
写真は  
アルバックテクノ本社

### 国内拠点の充実、真空材料、 表面処理事業が加わる

1980年代半ば頃からアルバックとの密接な連携により、国内サービス拠点を設置していきま。また90年代に入ると、ただ単にメンテナンス事業だけでなく、真空材料の供給や高機能表面処理事業が加わりま。  
写真は  
国内サービス拠点

### 洗浄事業が加わり、 カスタマーサポート事業拡充

2000年代はアルバックグループをあげての顧客満足度を高めるためのソリューション事業を充実させていきま。その一つが洗浄事業であり、中古品売買でした。当社はグループの中核企業としてソリューション展開していきま。  
写真は  
洗浄事業の現場

### 海外グループ会社との 連携によるサポート活動

アルバックおよびグループ会社の事業はますます海外依存を高めていきま。当社はそうした動きに追随するかたちで、海外グループ会社との連携を図り、日本国内で展開してきたソリューション事業の海外移植サポートを展開していきま。  
写真は  
海外グループ会社



## What's ULVAC

【アルバックテクノ株式会社の役割】

# カスタマーサポートを核とする アルバックの中核企業として

■真空事業を支える「強み」

### カスタマーサポート

アルバックテクノ株式会社を中心にカスタマーサポートのノウハウを核とするグループの英知を結集したソリューションの提供



暮らしと産業、先端技術に貢献するアルバックの真空技術



株式会社アルバックは、創業以来真空を核とする研究開発型総合メーカーとしてさまざまな産業、最先端研究分野に貢献してきました。またそれらの事業を支えているのは「研究開発」「カスタマーサポート」「グローバルネットワーク」の3つの強みをもっているからです。その中の「カスタマーサポート」の中核企業がアルバックテクノ株式会社です。

■真空事業を支える「強み」

### グローバルネットワーク

世界の産業発展を支える  
グローバルに展開するソリューションネットワーク



■真空事業を支える「強み」

### 研究開発

未来を切り拓く  
革新的・先進的な真空技術

情報の高度化分野

重要領域

省エネ・創エネ分野

未来領域



【アルバックテクノのカスタマーサポート事業】

# 信頼の技術と万全のネットワークでお応えする 多彩なカスタマーサポート事業

導入後の装置、真空ポンプ、計測器、ロボットなどのフィールドサポートにお応えしています。また、生産現場に専門スタッフを常駐させるFOSサービスにもお応えしています。



## Field Support

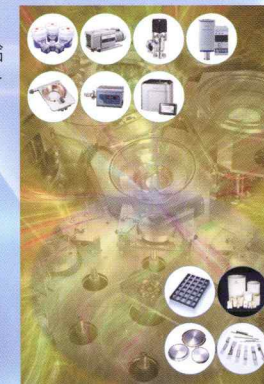
装置や真空ポンプ、計測器、ロボットのメンテナンス、およびFOS

アルバックの真空機器・装置はさまざまな産業分野で活躍しています。当社はそれら真空機器・装置のトータルなカスタマーサポートを行なっています。そのサポートは、装置の導入から運用、フィールドサポート、材料・部品の供給、真空ポンプ・計測器などのメンテナンス、FOS、中古品の売買および再生・改造、真空装置部品および一般産業向け表面処理、再生・精密洗浄など、実に多彩なサービスを用意しています。

## Parts Supply

真空材料、部品などの供給

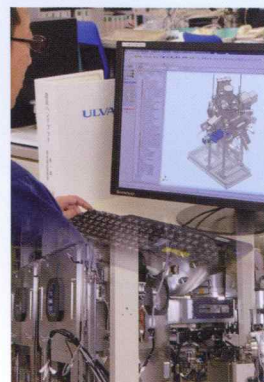
真空材料、真空部品、その他特注品の供給サポートを行なっています。



## カスタマーサポート

## Improvement Support

装置の改善・改良活動の提供



アルバックの装置は世界中のユーザーからご愛用いただいています。納入後の装置をさらに有効に活用していただくために、生産性向上などの継続的な改善活動(CIP: Continuous Improvement Program)を国内はもとより海外のお客様に対して行なっています。

## Resale & Refurbish

中古品売買およびその再生サポート



当社は、中古品売買はもちろんのこと、装置を熟知している強みを生かして、中古品の再生や改善などトータルにサービスを提供しています。

## Surface Treatment & Precision Cleaning

真空装置および一般産業向け表面処理、再生・精密洗浄



真空装置部品や一般産業向けの表面処理および再生洗浄を行なっています。





写真は液晶テレビ製造装置のメンテナンス風景。アルバックテクノはこのように超大型化する真空装置の他、さまざまなメンテナンスも行なっている。

## Field Support

カスタマーサポートの最大の使命は、お客様の生産ラインを最高の技術で迅速にサポートすることです。当社は、日本国内では全国約30カ所のサービス拠点を設け、客先至近・24時間緊急対応という万全の体制で臨んでいます。また、メンテナンスについては装置はもちろんのこと、真空ポンプ、計測器、搬送系ロボットまで広くサポートしています。さらに、技術スタッフを生産現場に常駐させるFOS（ファクトリー・アウトソーシング）も行なっています。このように、当社が長年培ったビジネスモデルを海外グループ企業への移植サポートをするなどグローバルに活動しています。

### メンテナンスおよびFOSのフィールドサポート

- 装置メンテナンス
- 真空ポンプメンテナンス
- 計測器メンテナンス
- ロボットメンテナンス
- FOS（ファクトリー・アウトソーシング）



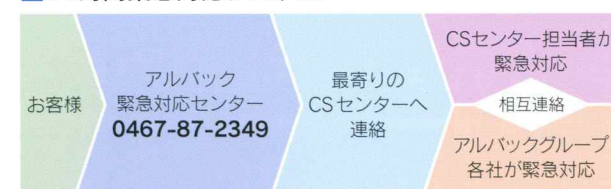
● Field Support

## 生産ラインを最高の技術で迅速対応

— 各種メンテナンスからFOSまで幅広いサポート体制



### 24時間緊急対応システム



「いざ」、というときも安心。24時間緊急対応システムがお応えします。

■アルバックヒューマンリレーションズ







「納入した装置を多目的に、高機能に変身させたい」という、世界中のお客様からの高度なご要望にお応えしているのが、当社の継続的な改良・改善活動である「GCIP (グローバルCIP)」です。お客様に納入した大切な装置を多世代にわたってご利用いただくことは、アルバックの設計理念の一つでもあります。当社はアルバック装置開発陣との綿密な連携の下、さまざまなご要求に対応しています。

装置の継続的な改良・改善活動

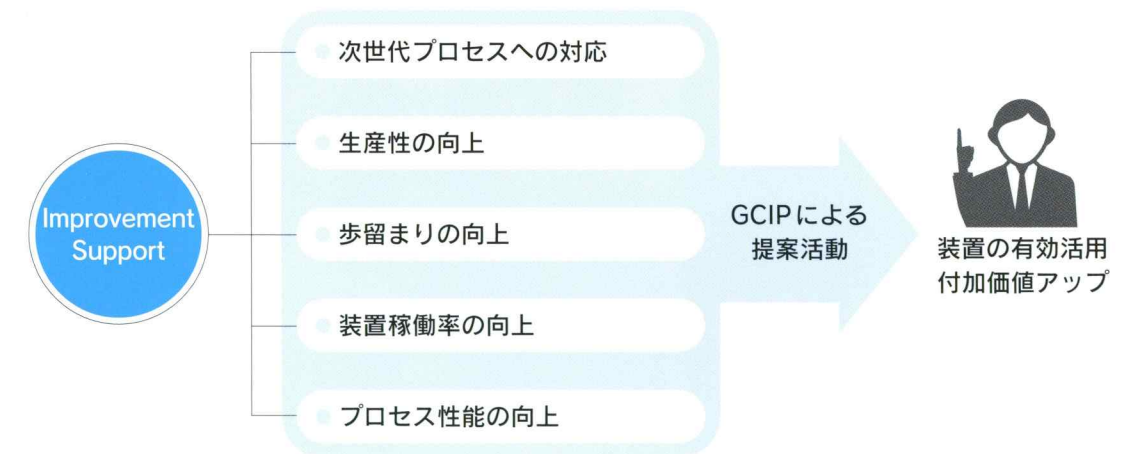
- GCIP (グローバルCIP)

\* CIP: Continuous Improvement Program

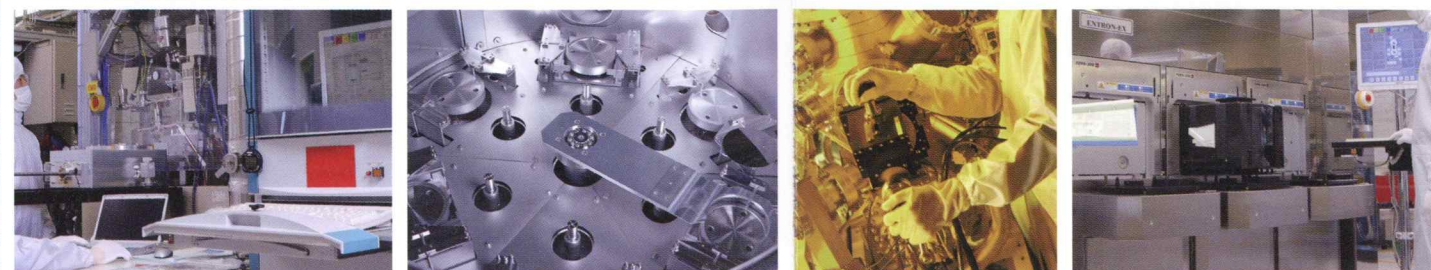


装置の多目的化、高機能化を徹底追求

—— 歩留まり改善、稼働率や生産性の向上を目指す



導入した真空装置をさらなる多目的化、生産性向上の提案活動は、お客様にとって究極のサポート活動である。これを可能としているのは真空装置を熟知している当社技術陣の日々の研鑽によるもの。







# ULVAC CS-200 Resale & Refurbish

当社の中古売買事業の最大の特長は、ただ単に中古品を扱っているだけではありません。真空装置およびその周辺機器を熟知した真空メーカーならではの、中古品の再生・改造から解体、据付け、立上げに加え、納入後の運用提案、メンテナンス、材料供給まで、社内の専門部署との連携により、総合的なサポート体制でお応えしています。

### 中古品売買および装置の再生

- 中古品売買
- 中古品の再生

熊本リセールイノベーションセンター：中古品の保管、展示、再生・改造などをトータルに運営する部署です。

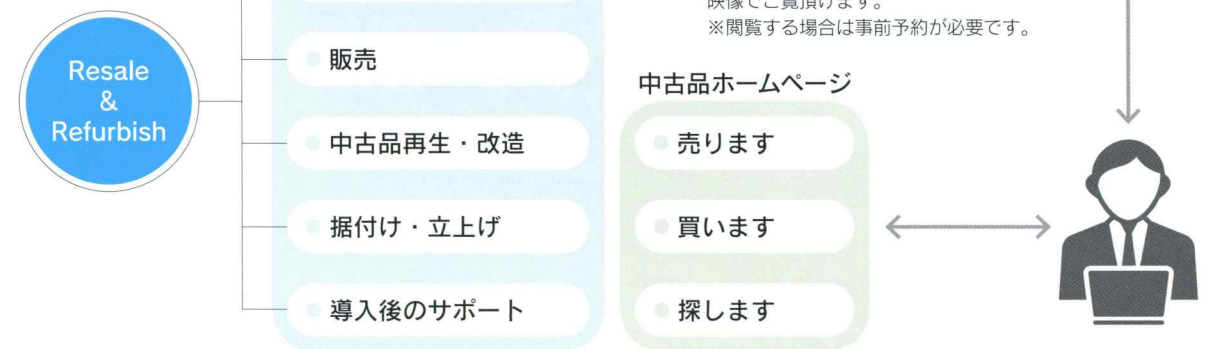


## 総合的なサポート体制でお応えする中古品売買

— 日リアルタイムで情報を更新する中古品専用Webサイトも公開



中古品は、熊本リセールイノベーションセンターに集められ、中古品の展示から、再生・改造までトータルに行なっている。



当社の中古品専用サイトは、ほぼリアルタイムで中古品情報を提供しています。

■中古品サイト







部品・製品

## Parts Supply

真空材料

厳選された豊富な在庫を誇る供給品の数々は、日々生産活動を行なっているお客様に迅速かつ安定的に供給される。

当社は、真空機器・装置の真空材料や真空部品に至るまで、当社が自信を持って厳選した製品を取り扱っています。また、その供給体制は、国内では全国のサービス拠点や海外グループ会社を窓口にして、迅速、かつきめ細かな在庫管理をベースにて、安定供給を実現しています。

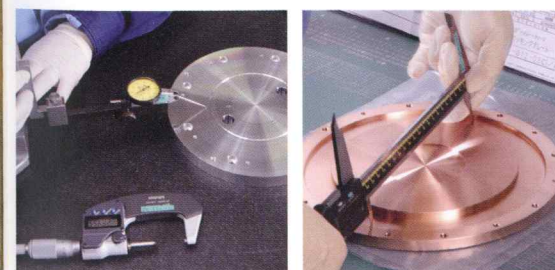
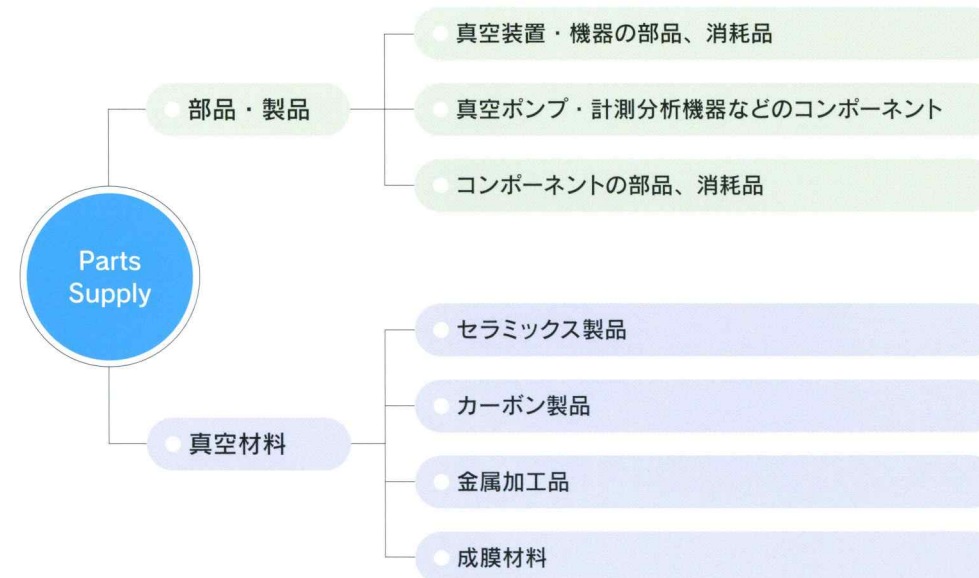
### 真空材料・部品等の供給サービス

- 真空材料の供給
- 真空部品の供給
- 特注部品の製作・供給
- その他、消耗品の供給



## 厳選した材料・部品の迅速・安定供給を実現

— 徹底した管理体制の下、高品質・豊富な品揃え



■真空材料サイト

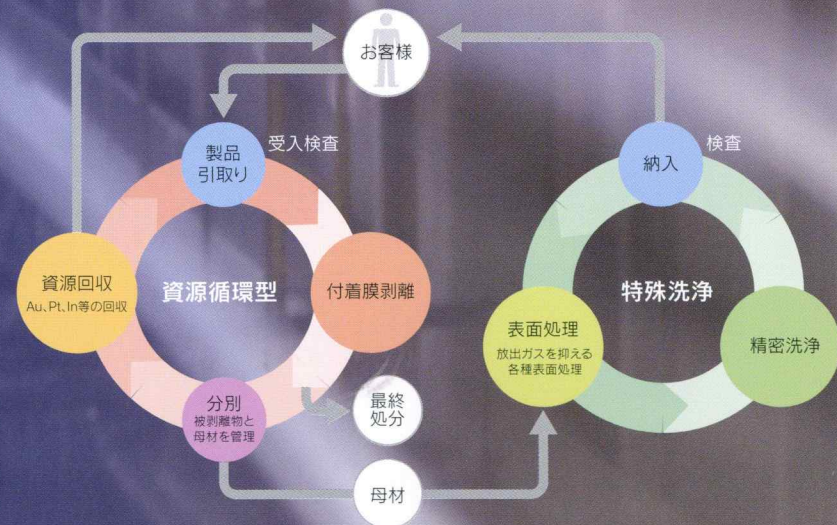




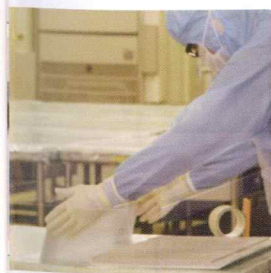
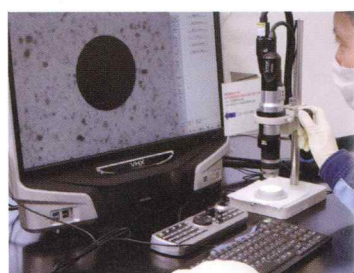
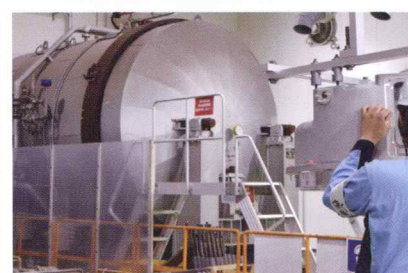


# Surface Treatment & Precision Cleaning

再生・精密洗浄による資源回収サイクルのあらまし



当社の表面処理および再生・精密洗浄は、一般産業用から超大型処理品まで幅広く対応し、国内最大級の設備を誇る。



当社の表面処理および再生・精密洗浄は、オリジナル技術から生まれたものと、米国マグナプレート社との技術提携による確かな技術から構成されています。さらにその利用分野は、一般産業向け各種表面処理、半導体製造装置あるいは液晶テレビ、太陽電池などの真空装置用超大型部品の表面処理および再生・精密洗浄など、当社独自のサービスを提供しています。

## 表面処理および再生・精密洗浄

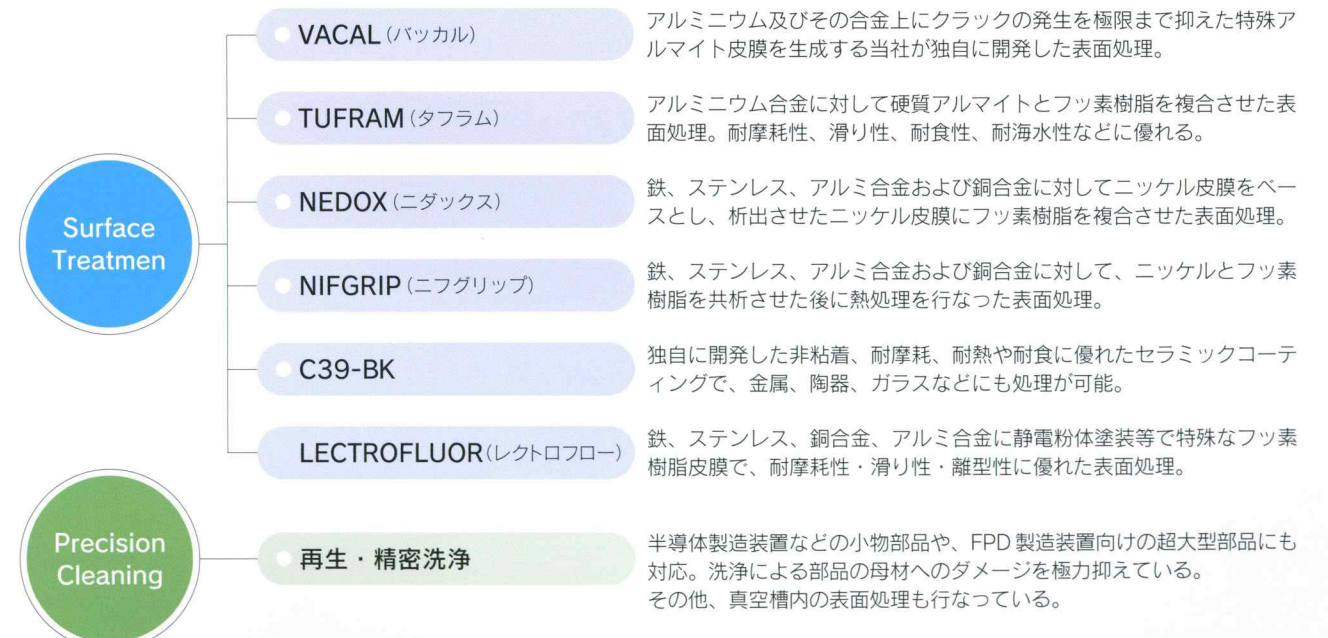
- 真空装置部品向け表面処理 (VACAL)
- 一般産業向け表面処理
- 真空槽内向け表面処理
- 真空装置部品の再生・精密洗浄

\* 表面処理、洗浄処理品は処理品から発生する資源回収やリサイクルも行なっています。(左ページ図参照)



## 超大型部品から一般産業向け高機能表面処理、再生・精密洗浄

— 確かな処理技術を駆使する国内最大級の処理設備



Surface Treatment & Precision Cleaning

表面処理サイト





## ますます重要度を増す真空技術のグローバル展開

—— 当社を核とするカスタマーサポート体制の海外連携強化

最先端技術のキーテクノロジーの一つである真空技術は、今後ますますグローバルに活躍の場を広げていきます。当社を含むアルバックグループは、国内外約50社からなり、世界中の地域ごとに最適な販売・サービスネットワークを構築しています。その中において当社は、カスタマーサポート事業の核として、国内はもちろんのこと、海外グループ会社との密接な連携を図り、グローバルな展開を行なっています。



### 海外アルバックグループ

- 北米  
ULVAC Technologies, Inc.  
Physical Electronics USA, Inc.
- 欧州  
ULVAC GmbH
- 中国  
愛発科(中国)投資有限公司  
寧波愛発科真空技術有限公司  
愛発科真空技術(蘇州)有限公司  
愛発科東方真空(成都)有限公司  
愛発科自動化科技(上海)有限公司  
愛発科天馬電機(靖江)有限公司  
愛発科中北真空(沈陽)有限公司  
愛発科商貿(上海)有限公司  
愛発科電子材料(蘇州)有限公司  
愛発科光電薄膜科技(深圳)有限公司  
寧波愛発科低温有限公司  
寧波愛発科精密鑄件有限公司  
愛発科(蘇州)技術研究開發有限公司  
香港真空有限公司  
愛発科真空設備(上海)有限公司
- 台湾  
ULVAC TAIWAN INC.  
ULTRA CLEAN PRECISION TECHNOLOGIES CORP.  
ULCOAT TAIWAN, Inc.  
ULVAC AUTOMATION TAIWAN Inc.  
ULVAC SOFTWARE CREATIVE TECHNOLOGY, CO., LTD.  
ULVAC Materials Taiwan, Inc.
- 韓国  
ULVAC KOREA, Ltd.  
Ulvac Korea Precision, Ltd.  
Pure Surface Technology, Ltd.  
ULVAC CRYOGENICS KOREA INCORPORATED  
ULVAC Materials Korea, Ltd.  
UF TECH, Ltd.
- 東南アジア  
ULVAC SINGAPORE PTE LTD (フィリピン、ベトナム、インドネシア含む)  
ULVAC MALAYSIA SDN. BHD.  
ULVAC (THAILAND) LTD.
- インド  
ULVAC, Inc. India Branch



アルバックテクノ(株)本社全景

### 国内アルバックグループ

- (株)アルバック (神奈川県茅ヶ崎市)
- アルバックテクノ(株) (神奈川県茅ヶ崎市)
- アルバックヒューマンリレーションズ(株) (神奈川県茅ヶ崎市)
- 真空セラミックス(株) (岐阜県土岐市)
- アルバック九州(株) (鹿児島県霧島市)
- アルバック東北(株) (青森県八戸市)
- アルバック機工(株) (宮城県西都市)
- アルバック販売(株) (東京都港区)
- アルバック・クライオ(株) (神奈川県茅ヶ崎市)
- アルバック・ファイ(株) (神奈川県茅ヶ崎市)
- タイゴールド(株) (神奈川県茅ヶ崎市)
- アルバック成膜(株) (埼玉県秩父市)
- 日真制御(株) (神奈川県茅ヶ崎市)
- (株)ファインサーフェス技術 (埼玉県秩父市)
- 日本リライアンス(株) (神奈川県相模原市)
- (株)昭和真空 (神奈川県相模原市)

### 富士裾野研修センター

最先端技術習得のための  
専門トレーニング施設

株式会社アルバックの富士裾野工場の一角にあるアルバックテクノ富士裾野研修センターは、アルバック独自の先進的な専門トレーニングおよび真空基礎研修などを行なっています。また、当研修センターでのトレーニングのほか、出張トレーニングサービスも承っております。



国内サービス拠点





# ULVAC

アルバックテクノ株式会社  
ULVAC TECHNO, Ltd.

---

〒253-8555

神奈川県茅ヶ崎市萩園2609-5

TEL 0467-87-1046

FAX 0467-57-0803

[www.ulvac-techno.co.jp](http://www.ulvac-techno.co.jp)

ISO 9001 認証取得

ISO 14001 認証取得





Quest **for** the Best Value

CORPORATE PROFILE

会社案内

別冊「データ集」

2017

アルバックテクノ株式会社  
ULVAC TECHNO, Ltd.



## 社是

我が社は顧客の信頼を大切にします。  
我が社は顧客に役立つ行動をする。

## 組織

### 本社事業部門

総務人事本部／経理財務本部／管理本部

### CS事業部門

東日本本部／中日本本部／西日本本部／海外営業本部

### ES事業部門

GCS本部／GCIP本部／リセール本部

### BS事業部門

販売促進本部／調達本部

### 表面処理事業部門

ケミカル本部／洗浄本部

## 会社概要

### ■会社の商号

アルバックテクノ株式会社  
ULVAC TECHNO, Ltd.

### ■創立

1979年1月1日

### ■代表取締役社長

末代 政輔

### ■株式の総数及び資本金

株式総数(授權資本) 920,000株  
発行済株式総数 250,000株

### ■資本金

125,000,000円

\*1株の額面金額=500円

### ■株主

株式会社アルバック(100%)

### ■従業員数(2017年9月1日現在)

合計 1,150人

男 922人 女 228人

### ■売上高(2017年6月期)

279億円

### ■主な取引銀行

みずほ銀行 茅ヶ崎支店

みずほ銀行 銀座支店

横浜銀行 茅ヶ崎支店

三井住友銀行 東京中央支店

### ■事業内容

#### 1. メンテナンスサービス事業

ULVACグループが製造・販売した真空機器・装置の修理、改造、移設、オーバーホール等、メンテナンス事業

#### 2. 機器・装置販売事業

ULVACグループが製造した真空機器・装置の販売並びに顧客対応の真空機器・装置等の共同開発事業

#### 3. 中古の真空機器・装置の売買事業

真空装置の有効活用を目的とした中古真空機器・装置の売買事業

#### 4. 内部治具の洗浄事業

環境を考慮した真空装置の内部治具の洗浄・表面処理事業

#### 5. 真空材料・部品・消耗品販売事業

真空機器・装置等に必要の各種材料、部品、消耗品の販売事業

#### 6. ケミカル事業

タフラム、ニダックス、ニフグリップ、バツカルなどの製法による金属表面処理および化学的処理によるクリーン洗浄事業

#### 7. 太陽電池、電気自動車関連サービス事業

#### 8. 建設業の機械器具設置工事業、電気工事業

### ■認可事業

特定労働者派遣事業認可

特14-301385

一般建設業(知事)認可 第74196号

— 20 機械器具設置工事業

— 22 電気工事業

古物商許可証(公安委員会)

全省庁統一入札資格

### ■福利厚生施設

ソネット草津、マリントピア天橋立

## 品質保証と環境保全を重視した社内体制 ISO9001、ISO14001 認証取得について

当社は、1998年7月に茅ヶ崎本社と主要CSセンターが、品質保証の国際規格であるISO9000シリーズの認証を取得しました。全社的に取得したのは2001年3月。

地球環境保全の国際規格であるISO14001は段階を経て取得しており、2000年7月に茅ヶ崎本社を皮切りに対象全拠点の認証を取得し、2015年1月にアルバックグループとしてグローバルに統一したグローバル統合認証(ISO9001・ISO14001)を取得しております。

## 歴史

1979年1月 アルバックサービス(株)設立  
(日本真空技術(株)サービス事業部独立)

1980年5月 アルバックサービス(株)とバイオエンジニアリング(株)が合併、アルバックサービス(株)となる

1981年9月 茨城CSセンター開所

1981年10月 (株)タツミ製作所を吸収し、アルバックサービス(株)尼崎工場を開所

1982年3月 九州地区の業務を分離し、関連会社として、アルバック九州サービス(株)を設立後にアルバック九州(株)となる

1984年8月 新潟CSセンター開所

1984年10月 愛媛CSセンター開所

1984年10月 岩手CSセンター開所

1984年10月 真空材料(株)の子会社として真空セラミックス(株)設立

1985年4月 尼崎工場を分離し、関連会社として、アルバック精機(株)を設立

1985年5月 筑波分室開所

1985年6月 長野CSセンター開所

1986年4月 甲府営業所開所

1986年4月 石川営業所開所

1986年5月 茅ヶ崎本社の事務棟建設

1986年7月 愛知CSセンター開所

1987年1月 広島CSセンター開所

1988年3月 石川営業所を廃止し、石川CSセンター開所

1988年4月 甲府営業所を廃止し、山梨CSセンター開所

1988年4月 山形CSセンター開所

1989年7月 宮城CSセンター開所

1990年1月 岡山CSセンター開所

1990年4月 本社・茅ヶ崎工場を建設、本社部門・茅ヶ崎CSセンターを新社屋へ移転。同時にバイオ工場を旧茅ヶ崎工場へ移転

1990年6月 群馬CSセンター開所

1990年11月 茅ヶ崎にトレーニングセンター開所

1991年4月 愛媛CSセンター新築移転

1991年10月 バイオ事業部、分離独立  
(NGKフィルテック(株)設立)

1992年3月 トレーニングセンターを廃止し、富士裾野研修センター開所

1992年10月 三重CSセンター開所

1994年1月 埼玉CSセンター開所

1994年7月 川崎CSセンター開所

1994年10月 アルバックサービス(株)とアルバックマテリアル(株)が合併、アルバックテクノ(株)となる

1994年10月 福島CSセンター開所

米沢分室開所

1995年5月 筑波分室を廃止し、筑波CSセンター開所

1996年2月 姫路CSセンター開所

1996年7月 金属表面化学(株)を吸収し、アルバックテクノ(株)ケミカルセンターを開所

1996年11月 新潟CSセンター新築移転

1997年1月 滋賀分室開所

1997年10月 山梨CSセンター新築移転

1998年6月 滋賀分室を廃止し、滋賀CSセンター開所

1999年10月 山形CSセンター新築移転

1999年11月 米子分室開所

2000年5月 広島CSセンターと岡山CSセンターを統合し、新たに広島CSセンターを新築移転

2000年7月 鳥取分室開所

2000年10月 静岡分室開所

2000年11月 石川CSセンター新築移転

2000年12月 下越分室開所

2002年5月 岩手CSセンター新築移転

2002年8月 栃木分室開所

2003年1月 大阪CSセンター移転

2003年5月 八戸事業所開所

2004年3月 茂原分室開所

2004年7月 徳島分室開所

2004年10月 千歳分室開所

2005年12月 米沢分室開所

2006年7月 下越分室を移転し、長岡分室開所

2006年9月 福島分室移転

2006年10月 ケミカルセンター茅ヶ崎工場新築移転

2006年12月 千歳分室移転

2007年7月 静岡分室移転

2007年10月 四日市分室開所

2008年5月 埼玉CSセンター新築移転

2008年7月 アルバックヒューマンリレーションズ(株)を設立

2008年10月 アルバックマテリアル(株)から表面処理事業部を事業譲渡され、洗浄本部 千葉事業所・八戸事業所を開所

2008年12月 愛知CSセンター新築移転

2009年6月 栃木分室開所

2009年7月 堺分室開所

2009年10月 和歌山事業所開所

2010年6月 山梨CSセンター開所

2010年7月 茂原分室を廃止し、茂原CSセンター開所

2010年7月 堺分室を廃止し、堺CSセンター開所

2010年10月 アルバック九州(株)からサービス技術部門、表面処理部門、洗浄部門が事業譲渡され、北九州CSセンター、長崎CSセンター、大分CSセンター、熊本CSセンター、宮崎CSセンター、鹿児島CSセンター、ケミカルセンター鹿児島事業所、洗浄本部鹿児島事業所を開所

2011年1月 茂原CSセンター 移転

2011年7月 長岡分室開所し新潟分室へ統合

2011年7月 長崎CSセンターを廃止し、長崎分室を開所

2011年7月 四日市分室を廃止し、四日市CSセンターを開所

2012年1月 新本社棟、茅ヶ崎CSセンター他、新築移転

2012年5月 四日市CSセンター移転

2012年6月 茨城CSセンター新築

2012年6月 福島分室開所

2012年9月 北九州CSセンター、長崎分室を開所

2012年10月 福岡CSセンター、北九州営業所を開所

2012年12月 八戸洗浄センターを開所

2013年7月 新潟分室を廃止し、新潟CSセンターを開所

2013年7月 新大阪オフィスを開所

2014年3月 山梨営業所開所

2014年7月 堺CSセンターを大阪CSセンター管轄に移行

2015年7月 愛媛CSセンターを愛媛分室に名称変更

2015年7月 千歳分室移転

2015年7月 石川CS内 白山準備室開所

2015年12月 徳島分室移転

2016年6月 鳥取分室開所

2016年7月 鳥取分室が米子分室へ統合し、鳥取営業所として開所

2016年7月 大分CSセンターを廃止し、大分分室を開所



拠点一覧

アルバックテクノ株式会社は、北海道、本州、四国、九州まで、日本全国 30 カ所以上に及ぶサービス拠点（CS センター及び分室）を設置し、24 時間体制で真空機器・装置の迅速な保守保全業務を行っています。

■サービスネットワーク



国内アルバックグループ

㈱アルバック（神奈川県茅ヶ崎市）

アルバックテクノ㈱（神奈川県茅ヶ崎市）  
アルバックヒューマンリレーションズ㈱（神奈川県茅ヶ崎市）  
真空セラミックス㈱（岐阜県土岐市）

アルバック九州㈱（鹿児島県霧島市）  
アルバック東北㈱（青森県八戸市）  
アルバック機工㈱（宮崎県西都市）  
アルバック販売㈱（東京都港区）  
アルバック・クライオ㈱（神奈川県茅ヶ崎市）  
アルバック・ファイ㈱（神奈川県茅ヶ崎市）  
タイゴールド㈱（神奈川県茅ヶ崎市）  
アルバック成膜㈱（埼玉県秩父市）  
日真制御㈱（神奈川県茅ヶ崎市）  
㈱ファインサーフェス技術（埼玉県秩父市）  
日本リライアンス㈱（神奈川県横浜市）  
㈱昭和真空（神奈川県相模原市）



【本社】

本社  
裾野教育研修センター

〒253-8555 神奈川県茅ヶ崎市萩園2609-5  
〒410-1231 静岡県裾野市須山1220-14

TEL 0467-87-1046 FAX 0467-57-0803  
TEL 055-998-2000 FAX 055-998-2002

【東日本本部】

岩手CSセンター  
千歳分室  
宮城CSセンター  
山形CSセンター  
茨城CSセンター  
筑波CSセンター  
埼玉CSセンター  
群馬CSセンター  
川崎CSセンター  
茂原CSセンター  
茅ヶ崎CSセンター  
山梨営業所  
ポンプリヘアセンター

〒024-0014 岩手県北上市流通センター 15-35  
〒066-0064 北海道千歳市錦町4丁目1838-10  
〒981-3304 宮城県富谷市ひより台2丁目3-5  
〒999-3716 山形県東根市大字蟹沢1863-13  
〒311-0102 茨城県那珂市向山1232-12  
〒300-2406 茨城県つくばみらい市福岡2455-2  
〒350-1328 埼玉県狭山市広瀬台 2丁目14-11  
〒370-1112 群馬県佐波郡玉村町下之宮430-2  
〒212-0055 神奈川県川崎市幸区南加瀬5-5-8  
〒299-4114 千葉県茂原市本納3210-7  
〒253-8555 神奈川県茅ヶ崎市萩園2609-5  
〒400-0815 山梨県甲府市国玉町238-3  
〒370-1112 群馬県佐波郡玉村町下之宮430-2

TEL 0197-68-2665 FAX 0197-68-2124  
TEL 0123-40-7760 FAX 0123-40-7730  
TEL 022-358-7788 FAX 022-358-7720  
TEL 0237-43-7888 FAX 0237-41-0388  
TEL 029-295-1341 FAX 029-295-2073  
TEL 0297-52-0944 FAX 0297-52-0945  
TEL 04-2969-5100 FAX 04-2955-9111  
TEL 0270-65-0333 FAX 0270-65-0115  
TEL 044-588-3011 FAX 044-588-3013  
TEL 0475-34-4451 FAX 0475-34-4452  
TEL 0467-87-1045 FAX 0467-58-4361  
TEL 055-221-8282 FAX 055-221-8283  
TEL 0270-65-0333 FAX 0270-65-0115

【中日本本部】

石川CSセンター  
長野CSセンター  
新潟CSセンター  
愛知CSセンター  
静岡分室  
三重CSセンター  
四日市CSセンター  
滋賀CSセンター

〒924-0835 石川県白山市漆島町1140  
〒399-0702 長野県塩尻市広丘野村1805-3  
〒944-0009 新潟県妙高市東陽町2-4  
〒444-0007 愛知県岡崎市大平町字榎田31  
〒436-0020 静岡県掛川市矢崎町2-5  
〒519-1106 三重県亀山市関町会下1206-1  
〒510-0076 三重県四日市市堀木2丁目10-17  
〒520-2313 滋賀県野洲市大篠原正法寺100-20

TEL 076-274-5595 FAX 076-274-5852  
TEL 0263-54-2954 FAX 0263-54-2955  
TEL 0255-72-6975 FAX 0255-72-6977  
TEL 0564-24-4884 FAX 0564-25-1919  
TEL 0537-62-1822 FAX 0537-62-1823  
TEL 0595-96-2951 FAX 0595-96-2974  
TEL 059-356-8001 FAX 059-351-2531  
TEL 077-586-2510 FAX 077-586-2531

【西日本本部】

大阪CSセンター  
堺CSセンター  
姫路CSセンター  
鳥取営業所  
徳島分室  
広島CSセンター  
愛媛分室  
福岡CSセンター  
北九州営業所  
熊本CSセンター  
大分分室  
宮崎CSセンター  
鹿児島CSセンター  
西日本販売部（福岡）

〒660-0806 兵庫県尼崎市金楽寺町2丁目7-18  
〒590-0908 大阪府堺市堺区匠町18 創知村B棟2階7号室  
〒679-4129 兵庫県たつの市龍野町 堂本字乗屋敷532-1  
〒683-0035 鳥取県米子市日久美町23-4  
〒770-8012 徳島県徳島市大原町中須33-1  
〒739-0153 広島県東広島市吉川工業団地5-23  
〒792-0002 愛媛県新居浜市磯浦町18-70  
〒819-1613 福岡県糸島市二丈松末839-1  
〒807-1101 福岡県北九州市八幡西区上香月3-1-12 ベルクレスト101  
〒861-1201 熊本県菊池市泗水町吉富100-31  
〒870-0278 大分県大分市青崎1-12-41  
〒889-1403 宮崎県児湯郡新富町上富田3191-2  
〒899-6301 鹿児島県霧島市横川町上ノ3313  
〒819-1613 福岡県糸島市二丈松末839-1

TEL 06-6482-3800 FAX 06-6481-7400  
TEL 072-225-0355 FAX 072-225-0356  
TEL 0791-62-2774 FAX 0791-62-2797  
TEL 0859-37-6789 FAX 0859-31-0053  
TEL 088-615-8500 FAX 088-615-8501  
TEL 082-420-9090 FAX 082-420-9191  
TEL 0897-32-6767 FAX 0897-32-6769  
TEL 092-330-3902 FAX 092-330-3902  
TEL 093-883-7735 FAX 093-883-7795  
TEL 0968-38-3322 FAX 0968-38-2340  
TEL 097-522-3803 FAX 097-522-3806  
TEL 0983-33-4840 FAX 0983-33-3152  
TEL 0995-72-1919 FAX 0995-72-1134  
TEL 092-330-3900 FAX 092-330-3902

【海外営業本部（茅ヶ崎）】

海外営業1課・2課

〒253-8555 神奈川県茅ヶ崎市萩園2609-5

TEL 0467-87-1048 FAX 0467-84-5301

【GCS本部（茅ヶ崎）】

GCSセンター  
計測センター

〒253-8555 神奈川県茅ヶ崎市萩園2609-5  
〒253-8555 神奈川県茅ヶ崎市萩園2609-5

TEL 0467-68-4323 FAX 0467-57-0803  
TEL 0467-87-1116 FAX 0467-58-0841

【GCIP本部】

技術営業部（UJ装置全般）  
FPD・産機CIPセンター（茅ヶ崎）  
半・電CIPセンター（茅ヶ崎）  
設計センター（茅ヶ崎）

〒253-8555 神奈川県茅ヶ崎市萩園2609-5  
〒253-8543 神奈川県茅ヶ崎市萩園2500 ㈱アルバックB棟4階  
〒253-8543 神奈川県茅ヶ崎市萩園2500 ㈱アルバックC棟6階  
〒253-8543 神奈川県茅ヶ崎市萩園2500 ㈱アルバックC棟6階

TEL 0467-68-4321 FAX 0467-84-5616  
TEL 0467-89-2367 FAX 0467-86-1539  
TEL 0467-89-2004 FAX 0467-89-2428  
TEL 0467-89-2004 FAX 0467-89-2428

【リセール本部】

技術営業部/管理課（茅ヶ崎）  
技術営業部（大阪）  
リセールイノベーションセンター（熊本）

〒253-8555 神奈川県茅ヶ崎市萩園2609-5  
〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原3丁目3-31 上村ニッセイビル5F  
〒861-1201 熊本県菊池市泗水町吉富100-31

TEL 0467-87-7904 FAX 0467-84-5616  
TEL 06-6397-5531 FAX 06-6397-2722  
TEL 0968-38-7008 FAX 0968-38-7015

【販売促進本部（茅ヶ崎）】

マーケティング部  
販売促進部  
ポンプセンター

〒253-8555 神奈川県茅ヶ崎市萩園2609-5  
〒253-8555 神奈川県茅ヶ崎市萩園2609-5  
〒253-8555 神奈川県茅ヶ崎市萩園2609-5

TEL 0467-87-7920 FAX 0467-84-5616  
TEL 0467-87-7920 FAX 0467-84-5616  
TEL 0467-87-7920 FAX 0467-84-5616

【調達本部】

調達センター  
調達センター九州調達課（鹿児島）

〒253-8555 神奈川県茅ヶ崎市萩園2609-5  
〒899-6301 鹿児島県霧島市横川町上ノ3313

TEL 0467-87-1047 FAX 0467-59-0438  
TEL 0995-72-1266 FAX 0995-72-1134

【ケミカル本部】

茅ヶ崎ケミカルセンター  
鹿児島ケミカルセンター  
茅ヶ崎営業部  
茅ヶ崎営業部千葉分室（千葉洗浄センター内）  
大阪営業部（大阪CS内）  
開発技術部

〒253-0071 神奈川県茅ヶ崎市萩園2658-19  
〒899-6301 鹿児島県霧島市横川町上ノ3313  
〒253-0071 神奈川県茅ヶ崎市萩園2658-19  
〒289-1297 千葉県山武市横田516  
〒660-0806 兵庫県尼崎市金楽寺町2丁目7-18  
〒253-0071 神奈川県茅ヶ崎市萩園2658-19

TEL 0467-86-5511 FAX 0467-87-7812  
TEL 0995-72-1136 FAX 0995-72-1137  
TEL 0467-86-5511 FAX 0467-87-7812  
TEL 0475-89-3815 FAX 0475-89-1705  
TEL 06-6482-3004 FAX 06-6481-7400  
TEL 0467-86-5511 FAX 0467-87-7812

【洗浄本部】

千葉洗浄センター  
和歌山洗浄センター  
鹿児島洗浄センター

〒289-1297 千葉県山武市横田516  
〒648-0005 和歌山県橋本市小峰台2丁目8-3  
〒899-6301 鹿児島県霧島市横川町上ノ3313

TEL 0475-89-3815 FAX 0475-89-1705  
TEL 0736-38-2200 FAX 0736-38-2203  
TEL 0995-72-1299 FAX 0995-72-1222



# ULVAC

アルバックテクノ株式会社  
ULVAC TECHNO, Ltd.

---

〒253-8555

神奈川県茅ヶ崎市萩園2609-5

TEL 0467-87-1046

FAX 0467-57-0803

[www.ulvac-techno.co.jp](http://www.ulvac-techno.co.jp)

ISO 9001 認証取得

ISO 14001 認証取得

